

ごあいさつ

公益財団法人 日本ソフトテニス連盟
会長 安道光二



新年おめでとうございます。

皆様におかれましては、良き新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

昨年はソフトテニス長期基本計画2017〈夢膨らむソフトテニス〉をスタートさせました。ソフトテニスを愛好する皆様のおかげで順調に事業を推進し、平成30年を迎えることができました。これもひとえに愛好者の皆様の応援のおかげと心より感謝しております。

ソフトテニスは日本で発祥し、老若男女を問わず愛好され、国民的スポーツとして発展してまいりました。長期基本計画でも施策のひとつとして国民の心身の健全な発達に寄与することを

掲げており、今後も生涯スポーツとして一層の発展を遂げるべく、事業を推進していく所存です。

また、日本はソフトテニスの国際普及の面でもリーダー的存在であり、そして競技力においても最高峰の力を誇っております。本年は第18回アジア大会がインドネシアにて開催されます。日本代表選手はこれまでも輝かしい成績をおさめておりますが、今回もこれまでの努力の成果を余すところなく発揮し、皆様に感動を与えてくれることと期待しております。今後はさらにソフトテニスを通じてマナーとフェアプレイ精神を向上させ、青少年の健全育成を図ってきたいと思います。

本年も当連盟一丸となり、ソフトテニスを愛好する皆様のためにも、より一層の普及発展と競技力向上に努めてまいります。

皆様からのご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

第72回 天皇賜杯・皇后賜杯 全日本ソフトテニス選手権大会

男子

- 優勝 水澤 悠太・村上 雄人 (NTT 西日本)
- 準優勝 丸中 大明・長江 光一 (NTT 西日本)
- 第3位 上岡 俊介・広岡 宙 (上宮高校)
- 第3位 篠原 秀典・小林 幸司 (日体桜友会・ミズノ)



水澤・村上ペア (NTT 西日本)

女子

- 優勝 林田 リコ・宮下こころ (文大杉並高校)
- 準優勝 高橋 乃綾・半谷 美咲 (どんぐり北広島)
- 第3位 徳川 愛美・黒木瑠璃華 (ヨネックス)
- 第3位 貝瀬ほのか・黒田 麻衣 (ヨネックス)



林田・宮下ペア (文大杉並高校)

平成30年度事業計画 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

I. ソフトテニスの普及振興事業

- ソフトテニス競技規則の制定
 - 全日本ソフトテニス選手権大会等開催
 - 国内競技会を大会実施要項に基づき実施する。
 - 大会の検討と大会運営の改善
 - アジア競技大会日本代表予選会の実施。シングルス種別にて実施する。
 - 全日本シングルス選手権大会

参加資格として前年度全日本選手権大会ベスト8を追加して実施する。
 - 全日本社会人選手権大会及び全日本シニア選手権大会の種別の変更

ア. 全日本シニア選手権大会のダブルス男子・女子(45歳以上)を全日本社会人選手権大会に移行する。全日本社会人選手権大会は「ダブルス一般男子・一般女子」「ダブルス35歳以上男子・35歳以上女子」「ダブルス45歳以上男子・45歳以上女子」の6種別で実施する。

イ. 全日本シニア選手権大会の混合45歳以上の種別は実施しない。
 - 新規全日本大会の検討
 - 日本スポーツマスターズの充実
 - 大会参加申込のシステム化
 - 主催大会開催
 - 競技、審判、広報等大会運営マニュアルの活用
 - ゼッケンの着用
 - 簡易得点板の設置
 - 大会審判のワッペン着用義務化
 - ユニフォーム等の着用基準
 - 個人戦の組み合わせの事前公開

これまで当日公開であった個人戦の組み合わせについて、事前公開を実施する。対象大会は、天皇賜杯皇后賜杯全日本選手権大会、全日本社会人選手権大会、全日本シングルス選手権大会とする。
 - ベアのユニフォーム統一
 - 試合経過の配信
 - 日本連盟主催大会のあり方について
- 地域ソフトテニス大会支援
 - 9地区選手権大会・9地区×200,000円を助成する。
 - 地区高校選抜大会・9地区×100,000円を助成する。
 - 9地区中学選手権大会・9地区×100,000円を助成する。
 - 全日本シニア東西対抗大会・400,000円を助成する。
 - 全日本学生同好会大会・200,000円を助成する。
- 加盟団体が行うソフトテニスの競技力向上と普及振興支援
 - 地域クラブ・ジュニアクラブ等の育成
 - 支部小学生大会への補助・47支部×@30,000円を助成する。
 - 支部中学生大会への補助・47支部×@30,000円を助成する。
 - ソフトテニス週間の実施
 - ソフトテニス愛好者増加対策
 - 指導者バンク(地域)の活用促進
 - 総合型地域スポーツクラブの研究
 - 傷害補償制度の徹底
- ソフトテニスの広報活動
 - メディア対策
 - ホームページの運営
 - 広報誌発行
 - ソフトテニスの歌の活用推進
 - 映画「案山子とラケット」の周知
 - 加盟団体における広報活動の推進
 - ロゴマーク及びキャラクター(そふていー)の活用
 - 広報活動の更なる推進に向けて
- ソフトテニスの表彰・顕彰
 - 国内関係表彰
 - 国際大会入賞
 - 特別功労者または団体
 - その他、特に必要と認めたもの
- ソフトテニスの技術等級・指導員資格認定
 - 名誉指導員の認定
 - 技術等級の認定(大会実績、検定会)
 - 技術等級システムを活用して認定手続きと資格者管理の効率化を推進する。
 - 技術等級制度自体の周知を図る。
- ソフトテニスの審判員資格認定
 - 審判員の普及促進と資質向上のため次の事業を推進する。
 - 審判員バンク創設及び派遣審判員の実施の検討
 - 審判技術DVDの活用
 - ジュニア審判員(中学3年生以下)の普及促進
 - 審判システムの活用
 - 全国審判員指導者研修会
 - 選手への研修
- ソフトテニス用具・用品、施設認定
 - 新規公認・更新手続きの承認
 - ラケットの証紙、ネットの証布の発行
 - 競技者にわかりやすいユニフォーム等着用基準の周知徹底
- ソフトテニスの医科学研究事業
 - 研究結果を活用し、ソフトテニスプレイヤーの資質向上に努める。
 - トレーナーの資質向上と競技者の健康増進のための事業を推進する。
 - アンチ・ドーピングに関する教育・啓発活動及び検査を実施する
 - 医科学研究報告書を発行する。

II. ソフトテニスの競技力向上事業

- ソフトテニスの競技力向上、医科学研究調査
 - 競技者育成プログラムの推進
 - 日本代表チームの強化合宿
 - ナショナルチームの強化合宿
 - 全日本U-14、U-17、U-20の強化合宿
 - 競技力向上のための国際大会派遣及び海外遠征
 - 強化スタッフの各種大会視察
 - 競技力向上のための調査・研究
 - 医科学サポートの活用
 - 競技者の資質向上のため、競技規則、審判規則、マナー等に関する研修会の実施を検討する。
- ソフトテニスの指導者育成
 - 指導者養成事業の推進
 - 全国小学生・中学生・高校生指導者の合同研修会
 - 指導者バンク(日本連盟)の確立及び推進
 - 指導者バンク(地域)の確立及び推進

III. ソフトテニスの国際振興事業

- ソフトテニスの国際振興
 - 国際普及活動の推進
 - 国際指導体制、審判体制等の充実
 - 国際大会の開催促進
 - 第18回アジア競技大会(2018年インドネシア)の準備活動
 - 第1回アジアジュニア選手権大会開催(2018年)への準備活動
 - 第1回東アジアユース大会(2019年中華台北)開催への支援
 - 第9回アジア選手権大会開催(2020年)への準備活動
 - 関西ワールドマスターズゲームズ2021の運営準備
 - 世界ジュニア選手権大会開催への準備活動
 - 海外の国際大会への積極的参加
 - その他国際大会への支援
 - 国際組織(ISTF、ASTF)への活動
 - 加盟各国の協力体制、財政基盤の確立、組織運営の検討
 - ISTFの課題や運営面について、日本の考えや立場の意見統一
 - 国際大会参加に向けての積極的な活動及び支援
 - 国際ルール改訂に向けての検証と実施
 - 国際版ホームページの活用と推進

〔各事業を推進するための組織と財政の強化、共通施策〕

I. 組織と財政の強化を推進する。

- 公益財団法人としての高い社会的信用を維持し、公益目的事業を行うために環境と教育に取組む。
 - 大会や強化事業を実施する際にごみの分別等を行うなど、スポーツ活動を通して環境保全を図り、スポーツをする人たち、見る人たちも相等しく地球人として環境保全を推進するための物を大切にする生活習慣の徹底
 - スポーツマンとしての倫理教育、青少年の健全育成の推進
 - 試合終了後の握手の励行を更に徹底推進する。
 - イ. ワッペン着用、審判をする時の姿勢・態度等 審判員のマナーの向上を図る。
 - ウ. 「フェアプレイで日本を元気に」フェアプレイ宣言キャンペーン活動の継続推進。
 - エ. マナーキッズプロジェクト(NPO)と連動し、ショートテニスを通じて日本の伝統的な礼法を体験させ、く体・徳・知>バランスのよい子供を育てる。
 - オ. マナー BOOKを配布しPRしていく。
 - カ. マナーチェックシートを活用し、実態調査と指導を引き続き行っていく。
 - 暴力根絶の徹底
- 会員登録制度の推進を図る。
 - 会員登録制度の定着及び充実
 - 会員登録手続きの効率化
 - 会員報の発行
 - 登録状況の把握と改善
- 長期基本計画2017(平成29年度～33年度)の計画を着実に推進する。
- 東京オリンピックを見据え、ソフトテニスの国際普及・振興を図るため、日本オリンピック委員会や東京都体育協会からの情報収集を進める。2020年東京オリンピックを良い機会としてとらえ、関わりを持てるような企画を検討する。

平成30年度収支予算書 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

単位：千円		科	目	予算額
I 事業活動収支の部				
1.事業活動収入				
(1) 基本財産運用収入				1,100
1.基本財産運用収入				1,100
(2) 会費収入				301,720
1.支部分担金				7,500
2.会員登録料				255,000
3.維持会費				39,220
(3) 事業収入				156,138
1.大会参加料				29,238
2.用具検定費				26,000
3.機関誌関係費				8,900
4.技術等級認定料				6,000
5.公認審判収入				67,840
6.出版物収入				18,160
(4) 補助金等収入				85,197
1.補助金収入				85,197
(5) 協賛金寄付金収入				35,750
1.協賛金				35,250
3.免税募金				500
(6) 雑収入				4,071
1.受取利息収入				46
2.広告料				1,820
3.雑収入				2,205
(7) 他会計からの繰入金収入				0
1.一般会計				0
2.募金会計				0
事業活動収入計				583,976
2.事業活動支出				
(1) 事業費支出				479,911
1.大会開催地関係費				62,756
2.地域大会補助費				4,200
3.地域グループ育成費				70,320
4.広報活動費				46,400
5.表彰費				12,700
6.技術等級関係費				1,335
7.公認審判関係費				26,350
8.用具施設証作成費				1,300
9.競技力向上費				185,568
10.指導者育成事業費				7,000
11.大会開催等関係費				22,317
12.日本スポーツマスターズ参加支援費				5,850
13.親善大会費				1,400
II 投資活動収支の部				
1.投資活動収入				0
投資活動収入計				0
2.投資活動支出				
(1) 職員退職積立金支出				1,500
1.職員退職積立金支出				1,500
(2) 資産取得資金積立金支出				0
1.資産取得資金積立金支出				0
投資活動支出計				1,500
投資活動収支差額				△ 1,500
III 財務活動収支の部				
1.財務活動収入				0
財務活動収入計				0
2.財務活動支出				0
財務活動支出計				0
財務活動収支差額				0
IV 予備費支出				34,263
当期収支差額				△ 60,000
前期繰越収支差額				60,000
次期繰越収支差額				0

(注) 1. 借入金限度額 100,000千円

第18回アジア競技大会開催について

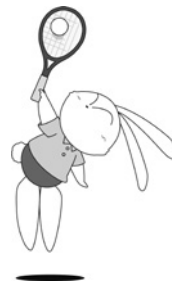
- 日 程** 2018年8月27日(月)～9月1日(土)
- 開催地** インドネシア・パレンバン
- 種 別** 男女シングルス・ミックスダブルス・男女国別対抗

*4年に1度開催される「アジア競技大会」。今大会は、前回大会の全7種別から全5種別に変更されました。シングルス男女各2選手、ミックスダブルス2ペア、国別対抗は男女各1チームの出場となります。アジア競技大会代表選手の活躍に期待がかかります。

第18回アジア競技大会日本代表選手予選会開催について

- 日 程** 平成30年4月14日(土)・15日(日) 予備日：4月16日(月)
- 会 場** 広島広域公園テニスコート(屋内4面・屋外4面、計8面)
〒731-3167 広島県広島市安佐南区大塚西五丁目2番1号
TEL: 082-848-9540

*アジア競技大会では、男女ダブルスが種別から外れるのに伴い、予選会はシングルスで行われます。アジア競技大会のインドネシア・パレンバンのコートサーフェスがハードコートのため、予選会もハードコートでの開催。優勝した男女各1選手に代表権が与えられます。さらに日本連盟推薦の男女各4選手を加えた男女各5選手がアジア競技大会の代表となります。



事務局からのお知らせ

・個人戦の組み合わせの事前公開について

これまでは当日に公開してきた個人戦の組み合わせについて、天皇賜杯皇后賜杯全日本選手権大会・全日本社会人選手権大会・全日本シングルス選手権大会の事前公開を実施致します。大会前に色々な対戦が分かりワクワクしてきますね♪日本ソフトテニス連盟のホームページをお見逃しなく！

・機関誌「ソフトテニス」のご案内

日本ソフトテニス連盟の機関誌「ソフトテニス」は、毎月1回発行しています。

日本ソフトテニス連盟主催の大会結果や選手の感想、強化チームに関する情報や地区大会・地方大会の結果や各支部の大会結果等が掲載されています。購読料は、1冊につき300円です(送料込)。年間(年度)契約となっておりますが、単月においても対応可能な場合は、単月のみの購読希望をお受けいたします(在庫があればバックナンバーも可能です)。購読ご希望の方は、日本ソフトテニス連盟のホームページよりお申し込みください。 <http://www.jsta.or.jp>

・傷害補償制度について

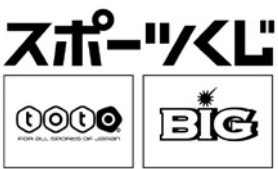
会員登録手続きを完了された方が、日本ソフトテニス連盟又は加盟団体(下部組織を含む)が主催する公式の大会及び検定会並びに研修会等の事業に参加した選手又は役員・受講者がケガをして、入院又は通院した場合に傷害補償金をお支払いする制度です。詳細は、日本ソフトテニス連盟のホームページをご確認ください。

平成30年度 大会日程並びに開催地一覧

	大会名	開催地	日程	31年度
主催大会	第18回アジア競技大会日本代表選手予選会	広島県広島市	4月14日(土)・4月15日(日)	
	第25回全日本シングルス選手権大会	青森県青森市	5月19日(土)・5月20日(日)	(九州)
	男子第63回・女子第62回全日本実業団選手権大会	茨城県北茨城市・日立市	8月3日(金)～8月5日(日)	鹿児島県鹿児島市
	第35回全日本小学生選手権大会	愛媛県今治市	7月26日(木)～7月29日(日)	(関東)
	第46回全日本社会人選手権大会	静岡県静岡市他	9月8日(土)・9月9日(日)	(北海道・東北)
	JOCジュニアオリンピックカップ大会	広島県広島市	9月15日(土)・9月16日(日)	広島県広島市
	第25回全日本ジュニア選手権大会	佐賀県佐賀市他	9月21日(金)～9月23日(日)	京都府福知山市
	第73回天皇賜杯・皇后賜杯 全日本選手権大会	熊本県熊本市	10月19日(金)～10月21日(日)	(北海道・東北)
	第32回日本実業団リーグ	京都府福知山市	10月26日(金)～10月28日(日)	京都府福知山市
	第25回全日本クラブ選手権大会	千葉県白子町	10月27日(土)・10月28日(日)	千葉県白子町
	第36回日本リーグ	愛知県豊田市	12月14日(金)～12月16日(日)	愛知県豊田市
	第64回全日本インドア選手権大会	大阪府大阪市	31年 2月3日(日)	大阪府大阪市
	日本リーグ入替戦	愛知県名古屋市中区	31年 2月9日(土)・2月10日(日)	愛知県名古屋市中区
	第13回ジュニアジャパンカップ 「競技者育成プログラム(Step-4)」	宮崎県宮崎市	11月16日(金)～11月19日(月)	宮崎県宮崎市
共催大会	第30回都道府県対抗全日本中学生大会	三重県伊勢市	31年 3月26日(火)～3月28日(木)	三重県伊勢市
	第18回全国小学生大会	千葉県白子町	31年 3月29日(金)～3月31日(日)	千葉県白子町
	第47回ハイスchoolジャパンカップ	北海道札幌市	6月20日(水)～6月24日(日)	北海道札幌市
	西日本シニア選手権大会	宮崎県宮崎市	6月23日(土)・6月24日(日)	奈良県
	第73回東日本選手権大会(一般・35・45)	茨城県神栖市・北茨城市	7月14日(土)・7月15日(日)	(北信越)
	第73回東日本選手権大会(シニア)	栃木県宇都宮市・栃木市	7月21日(土)・7月22日(日)	(北信越)
	第72回西日本選手権大会	大分県大分市	7月21日(土)・7月22日(日)	大阪府
	全日本高校選手権大会(男子)	三重県鈴鹿市	8月3日(金)～8月6日(月)	宮崎県宮崎市
	全日本高校選手権大会(女子)	三重県鈴鹿市	7月30日(月)～8月2日(木)	宮崎県宮崎市
	第45回全日本レディース大会(個人戦)	和歌山県和歌山市他	8月1日(水)～8月3日(金)	青森県青森市他
	全日本学生選手権大会	岡山県	8月6日(月)～8月11日(土)	
	第49回全国中学校大会	広島県尾道市	8月21日(火)～8月23日(木)	京都府
	第40回全日本レディース決勝大会(団体戦)	宮城県仙台市	8月17日(金)～8月19日(日)	愛知県一宮市
	日本スポーツマスターズ2018	北海道江別市	9月15日(土)～9月16日(日)	岐阜県
	第73回国民体育大会	福井県越前市・福井市	10月5日(金)～10月8日(月)	茨城県北茨城市
国際	第44回全日本高校選抜大会	愛知県名古屋市中区	31年 3月28日(木)～3月30日(土)	愛知県豊田市
	第26回日・韓・中ジュニア交流競技大会	韓国	8月23日(木)～8月29日(水)	中国
その他	第18回アジア競技大会	インドネシア	8月27日(月)～9月1日(土)	
	第31回ねりんピック2018	富山県高岡市	11月3日(土)～11月6日(火)	和歌山県

平成29年度日本スポーツ振興センター助成事業一覧

下記の事業については、独立行政法人日本スポーツ振興センターの助成を受けて実施いたします。

基金助成		くじ助成	
事業名	助成額(内示)	事業名	助成額(内示)
JOCジュニアオリンピックカップ大会/ 全日本ジュニア選手権	1,348,000	競技者育成プログラム(Step-1～Step3)	52,640,000
天皇杯皇后杯全日本選手権	2,785,000	ドーピング検査	4,702,000
全国小学生・中学生・高校生指導者研修会	1,451,000		
計	5,584,000	計	57,342,000
 スポーツ振興基金 独立行政法人日本スポーツ振興センター		 スポーツくじ LOTTO BIG	

平成29年度日本オリンピック委員会補助事業一覧

下記の事業については、公益財団日本オリンピック委員会の補助を受けて実施いたします。

事業名	補助額(内示)
選手強化事業	14,630,000

平成29年度 ソフトテニスランキング

日本ソフトテニス連盟の表彰基準により、本年度のランキングが決定しました。おめでとうございます。

総合男子				総合女子			
1	水澤 悠太 村上 雄人	広島	NTT西日本	1	林田 リコ 宮下 こころ	東京	文化学園大学杉並高校
2	丸中 大明 長江 光一	広島	NTT西日本	2	徳川 愛実 黒木 瑠璃華	東京	ヨネックス
3	本倉 健太郎 丸山 海斗	日本学連	明治大学	3	高橋 乃綾 半谷 美咲	広島	びんぐり北広島
4	船水 雄太 林 大喜	広島	NTT西日本	3	小谷 菜津美 大槻 麗	福島	ダンロップ
5	上岡 俊介 広岡 宙	大阪	上宮高校	5	笠井 佑樹 尾上 胡桃	日本学連	日本体育大学
6	安藤 優作 内田 理久	日本学連	早稲田大学	6	中川 瑞貴 芝崎 百香	東京	ナガセケンコー
7	船水 颯人 上松 俊貴	日本学連	早稲田大学	7	森田 奈緒 神谷 絵梨奈	東京	ヨネックス
8	岩崎 圭 原 佑輝	広島	NTT西日本	8	貝瀬 ほのか 黒田 麻衣	東京	ヨネックス
9	篠原 秀典 小林 幸司	東京	日体桜友会 ミズノ	8	西岡 真里華 古田 麻友	日本学連	関西大学
9	増田 健人 九鳥 一馬	和歌山 大阪	和歌山県庁 ミズノ	8	志牟田 智美 大中 葵	日本学連	神戸松蔭女子学院大学
				8	大井 樹来 吉田 葉里	東京	ヨネックス

社会人男子				社会人女子			
1	丸中 大明 長江 光一	広島	NTT西日本	1	小谷 菜津美 大槻 麗	福島	ダンロップ
2	水澤 悠太 村上 雄人	広島	NTT西日本	2	森田 奈緒 神谷 絵梨奈	東京	ヨネックス
3	船水 雄太 林 大喜	広島	NTT西日本	3	植田 幸寿保 石井 友梨	京都	ワタキューセイモア
3	岡本 光生 加藤 顕成	広島	広島翔洋クラブ	3	大羅 夢真 岡村 葵	福島	ダンロップ
5	塩田 顕 井口 雄介	奈良 宮崎	高商OBクラブ スマッシュイグチクラブ	5	若田 実友子 泉谷 朋香	兵庫	東芝姫路
5	大橋 拓実 後藤 諒太	徳島 京都	大神子病院 ワタキューセイモア	5	七尾 美咲 石田 裕美	京都	ワタキューセイモア
5	瀬口 翔太 仲野 聖矢	愛知	トヨタ自動車	5	成田 悠 小林 優美	愛知	アドマテックス
5	岩崎 圭 原 佑輝	広島	NTT西日本	5	中川 瑞貴 芝崎 百香	東京	ナガセケンコー

成年男子				成年女子			
1	花田 直弥 山田 拓未	京都 徳島	京都市役所 大神子病院	1	竹田 佳恵 中根 治美	愛知	一宮 花・花 岡崎ロングロングクラブ
2	吉川 博之 足利 剛平	山口 岡山	宇部興産 クラレ岡山	2	岡 夕香 高向 美佐	岡山 熊本	クラレ岡山 宇土クラブ
3	高山 泰英 高山 知之	石川	兼六クラブ	3	浦川 真紀 前田 ひとみ	熊本	宇土クラブ アタッククラブ
3	岩永 淳 奥村 陸矢	広島 福岡	NTT西日本中国 綾小路クラブ	3	福田 江里子 林 美穂	福岡	久留米クラブ スポーツアイランド

シニア男子45				シニア女子45			
1	石橋 孝一 橋本 康徳	京都	京都市役所	1	中辻 孝子 青山 裕子	大阪 奈良	KENKO T・Mクラブ
2	吉末 尚之 田中 完二	東京	世田谷テニス	2	宮尾 真由美 花園 安紀	埼玉 東京	所沢ペアート 杉並文化クラブ
3	中島 通晴 枝村 賢美	静岡	浜松市役所	3	中村 早智 山下 由香	大阪 高知	大阪OB軟庭会 土佐レディース
3	片峯 俊和 篠原 和彦	福岡	TOTO	3	五十嵐 美智恵 米沢 優美子	新潟 石川	燕テニスクラブ ふたばクラブ

シニア男子50				シニア女子50			
1	千野 一也 堀越 晴夫	東京	たちばなクラブ 板橋ソフトテニス倶楽部	1	村岡 恵子 佐野 るり子	東京	杉並文化クラブ
2	村瀬 充 仙福 和茂	埼玉	川口ISC やまほうしクラブ	2	東 純子 宮崎 由佳子	兵庫 大阪	今津クラブ RISE
3	濱田 正一 堀江 正純	和歌山	教友クラブ	3	近藤 通江 佐々木 あゆみ	愛知	岡崎バード
3	河合 徹 籠野 浩史	岐阜 愛知	多治見クラブ 葵クラブ	3	染谷 啓子 拜原 みゆき	千葉 宮城	小金原ソフトテニスクラブ ウィナークラブ

シニア男子55				シニア女子55			
1	富澤 裕次郎 蒨 政弘	福井 福岡	ウィルベリーズ サンデークラブ	1	大谷 美佐 木下 之美	徳島 和歌山	阿南クラブ ゆうがクラブ
2	古賀 数則 花村 文二	鹿児島 福岡	日曜クラブ 田川ソフトテニス連盟	2	近藤 貴予 落合 千春	東京	武蔵野クラブ 台東グリーンテニスクラブ
3	梶原 茂徳 磯部 雅宏	東京	JR東日本東京 BLUE TAKAX	3	浦 みどり 村瀬 里美	兵庫	今津クラブ 東芝ホームテニスクラブ
3	大塚 喜彦 玉岡 良仁	兵庫 京都	神戸山手クラブ 京都市役所	3	鈴木 明美 牧野 京子	新潟 埼玉	長岡レモンクラブ 川口クラブ

シニア男子60				シニア女子60			
1	篠邊 保 石川 雅利	愛知 千葉	桜田クラブ 市川ソフトテニスクラブ	1	増田 加奈 神野 弓子	愛知	岡崎バード すみれクラブ
2	谷本 優 小森 稔信	大阪	大阪OB軟庭会 堺ソフトテニス連盟	2	江利川 富美子 安達 伸子	大分	スポーツマンシップ
3	松舟 智明 大川 尚洋	愛知	ウイングクラブ	3	清水 さかゑ 井上 光子	千葉	市原ドリーム 北柏ライフテニスクラブ
3	吉岡 和幸 兼田 忠啓	新潟	糸魚川テニスクラブ 中条クラブ	3	大丸 美秋 中原 孝子	広島	がんばろう会

シニア男子65				シニア女子65			
1	袴田 文雄 菅野 勝郎	秋田 岩手	能代支部 陸前高田市ソフトテニス協会	1	尾張 由美 岩原 慶子	愛知	駒ヶレディスソフトテニスクラブ
2	棚 貴文 田原 美成	山梨	山梨シニアクラブ 韭崎市ソフトテニス連盟	2	竹下 美智子 祖田 昭代	岡山 大分	プロシード 津久見
3	野村 俊夫 南出 英正	和歌山	青葉クラブ 和歌山忠友クラブ	3	大井 多恵 阿部 新子	愛知	森林クラブ
3	石田 秀明 松本 登志雄	静岡	富士宮市役所 大成クラブ	3	川田 宏江 岡村 信子	兵庫	すずらんクラブ 東神戸テニスクラブ

シニア男子70				シニア女子70			
1	木藤 勝敏 熊田 章甫	大阪 岐阜	大阪OB軟庭会 TEAM KUMA	1	小谷 苑子 高野 春子	東京 群馬	葛飾クラブ 前橋クラブ
2	石川 延房 岩本 義久	静岡	富士ファミリーソフトテニスクラブ 静岡クラブ	2	吉田 芳子 木下 美江	鳥取	カナダホーム 漆山クラブ
3	石崎 和義 宝力 良允	神奈川	横浜市役所 逗子開成軟式庭球部OB会	3	武内 美佐子 岩佐 照代	大阪 兵庫	高槻クラブ 東灘クラブ
3	吉田 真一 青木 正	茨城	磯原ソフトテニスクラブ 日立SST	3	服部 京子 渡辺 伸江	愛知	すみれクラブ

シニア男子75				シニア女子75			
1	小林 秀男 野地 光明	山梨 神奈川	山梨シニアクラブ 日本スポーツマンスクラブ	1	高羽 邦子 山田 悦子	大阪	堺ミルフィーズ 東大阪アミー
2	望月 幹夫 木地 孝嘉	埼玉 愛知	浦和フレンドリー 七宝町ソフトテニス	2	田中 光子 稲垣 節子	愛知	葵クラブ
3	青木 東平 手塚 進	神奈川 千葉	金剛寺クラブ 貝塚中央クラブ	3	高田 佑起子 岩切 典子	東京	チームNARO 町田支部
3	岩島 典男 高橋 邦彦	千葉 埼玉	中台テニスクラブ 上福岡テニスクラブ	3	喜利 ミナ子 加藤 鈴子	京都	洛西クラブ E.F.Tクラブ

シニア男子80				シニア女子80			
1	森本 弘祐 住司 英雄	千葉	湖北台ソフトテニスクラブ ときわ平クラブ	1	大久保 初子 関 寿子	愛知 東京	すみれクラブ 寿美礼クラブ
2	若林 博之 中野 雅文	兵庫	三木クラブ 宝塚クラブ	2	福田 久恵 住友 康江	大阪 兵庫	枚方市ソフトテニス連盟 すずらんクラブ
3	佐藤 充 鶴 亦雄	大阪 長崎	大正クラブ 大村市協会	3	赤堀 妙子 村岡 良子	愛知 山口	すみれクラブ 長門大津クラブ
3	栗田 舜二 荻窪 武晴	神奈川	金剛寺クラブ すみれクラブ	3	湯原 露江 星野 弘子	神奈川	港北軟庭会 ひまわりレディースクラブ

シニア混合45				シニア混合50			
1	加藤 敏治 松崎 晴美	愛知	(株)デンソー 豊田クラブ	1	錦野 充宏 宮崎 由佳子	大阪	吹田クラブ RISE
2	濱田 英明 花園 安紀	東京	練馬ソフトテニス 杉並文化クラブ	2	畔柳 昌己 樋口 紀代美	石川 静岡	野々市クラブ 下田市ソフトテニス協会
3	榊原 雄司 坂本 一美	石川	兼六クラブ	3	片桐 浩子 依田 教夫	長野	佐久STA 長野STA
3	岡 夕香 杉山 忍	岡山	クラレ岡山 しらかべクラブ	3	深津 弘樹 平形 明美	愛知	みよし市役所 西尾ソフトテニス協会

シニア混合55				シニア混合60			
1	大谷 美佐 谷本 満裕	徳島	阿南クラブ 大神子病院	1	新聞 均 伴戸 明己	徳島 北海道	永遠クラブ 札幌白石クラブ
2	太田 孝史 野口 弘美	神奈川	北相ソフトテニスクラブ あじさいクラブ	2	金子 由美 藤 政弘	神奈川 福岡	横浜スマイル サンデークラブ
3	中山 広子 川野 武	埼玉	天沼ファミリー 栗橋テニス	3	福谷 道明 田村 良子	大阪 東京	箕面クラブ 世田谷
3	萩原 由美 大野 勝敏	東京 埼玉	杉並文化クラブ 浦和ファミリー	3	吉本 安男 津田 妙子	北海道	北見ソフトテニス連盟 速球会

シニア混合65				シニア混合70			
1	杉山 泰久 中谷 順子	埼玉	所沢ベアート	1	蟹江 厚佑 富山 郁代	愛知	知多ソフトテニス協会 すみれクラブ
2	高橋 道子 篠山 明	埼玉	所沢ベアート 浦和あづまクラブ	2	齋藤 雅子 込山 修	愛知	豊田なでしこ 千種クラブ
3	沼田 義雄 沼田 ムツ子	熊本	宇土クラブ	3	岩本 義久 長谷川 三世子	静岡	静岡クラブ 富士宮ソフトテニスクラブ
3	木村 実 茂木 ゆみ子	大阪	箕面クラブ 茨木クラブ	3	長門 忍 横野 久美子	愛知	桜クラブ すみれクラブ

ジュニアシングルスU - 14男子				ジュニアシングルスU - 14女子			
1	武市 大輝	山口	下松中学校	1	松岡 琴美	岡山	山陽女子中学校
2	菊山 太陽	和歌山	西和中学校	2	半田 穂乃花	山形	宮内中学校
3	園野 佑紀	三重	小俣中学校	3	松橋 由依	岩手	北上中学校
3	永江 孝二郎	福岡	高田中学校	3	原田 美結	北海道	追分中学校

ジュニアシングルスU - 17男子				ジュニアシングルスU - 17女子			
1	林 湧太郎	奈良	高田商業高校	1	小林 愛美	東京	文化学園大学杉並高校
2	北野 亮介	宮城	東北高校	2	井上 爽蘭	岡山	山陽女子中学校
3	端山 羅行	石川	中能登中学校	3	武市 明香里	広島	広島修道大学附属錦華女子中学校
3	大友 駿	岐阜	中京高校	3	中川 利李	山形	宮内中学校

ジュニアシングルスU - 20男子				ジュニアシングルスU - 20女子			
1	内本 隆文	日本学連	早稲田大学	1	貝瀬 ほのか	東京	ヨネックス
2	北本 達己	奈良	高田商業高校	2	宮下 こころ	東京	文化学園大学杉並高校
3	阪本 峻	奈良	高田商業高校	3	林田 リコ	東京	文化学園大学杉並高校
3	根本 大地	奈良	高田商業高校	3	笠井 菜々子	広島	広島修道大学附属錦華女子高校

※ジュニアダブルスU-14、U-17、U-20については雨天中止のためランキング決定せず

男子シングルス				女子シングルス			
1	船水 颯人	日本学連	早稲田大学	1	徳川 愛実	東京	ヨネックス
2	長江 光一	広島	NTT西日本	2	尾上 胡桃	日本学連	日本体育大学
3	増田 健人	和歌山	和歌山県庁	3	平久保 安純	日本学連	早稲田大学
3	船水 雄太	広島	NTT西日本	3	林田 リコ	東京	文化学園大学杉並高校
5	井口 雄介	宮崎	スマッシュイグチクラブ	5	榎本 有花	広島	どんぐり北広島
5	高倉 和毅	東京	早稲田実業高校	5	貝瀬 ほのか	東京	ヨネックス
5	安藤 優作	日本学連	早稲田大学	5	志幸田 智美	日本学連	神戸松蔭女子学院大学
5	丸中 大明	広島	NTT西日本	5	生田 遥夏	兵庫	神戸松蔭女子学院大学

大学男子				大学女子			
1	本倉 健太郎 丸山 海斗	日本学連	明治大学	1	笠井 佑樹 尾上 胡桃	日本学連	日本体育大学
2	長尾 景陽 松本 倫旺	日本学連	早稲田大学	2	志幸田 智美 地中 葵	日本学連	神戸松蔭女子学院大学
3	内本 隆文 星野 慎平	日本学連	早稲田大学	3	下地 彩可 秦江 佳奈子	日本学連	関西外国語大学
3	三好 悠大 高村 梯神	日本学連	関西外国語大学	3	羽濑 沙由里 高杉 梨奈	日本学連	東京女子体育大学
5	谷口 睦 飯田 脩三	日本学連	関西大学	5	齊藤 香純 鈴木 梨沙	日本学連	明治大学
5	丸岡 俊介 金子 大祐	日本学連	明治大学	5	高橋 勲有 西永 りな	日本学連	明治大学
5	中平 慎吾 米澤 要	日本学連	明治大学	5	小山 舞 上原 由佳	日本学連	早稲田大学
5	立木 雅也 平井 裕之	日本学連	明治大学	5	米田 彩乃 坂本 茉梨乃	日本学連	天理大学

高校男子				高校女子			
1	阪本 峻 林 湧太郎	奈良	高田商業高校	1	林田 リコ 宮下 こころ	東京	文化学園大学杉並高校
2	上岡 俊介 広岡 宙	大阪	上宮高校	2	原口 美咲 久保 菜月	福岡	中村学園女子高校
3	山根 裕平 根本 大地	奈良	高田商業高校	3	小松崎 菜代 原島 百合香	東京	文化学園大学杉並高校
3	北野 亮介 鈴木 竜弥	宮城	東北高校	3	上野 小町 吉田 滯奈	大阪	昇陽高校
5	丸山 章 小田 龍翔	広島	尾道高校	5	松井 玲奈 浦口 華音	和歌山	和歌山信愛高校
5	久山 隆希 大友 駿	岐阜	中京高校	5	原田 由文 佐藤 未来	宮城	東北高校
5	柘植 省吾 村瀬 伊織	愛知	岡崎城西高校	5	笠井 菜々子 奥田 結依	広島	広島修道大学附属錦華女子高校
5	花岡 忠寿 増田 祐太	奈良	高田商業高校	5	竹田 真樹 久保 晴華	三重	三重高校
9	日下部 空良 斎藤 慈希	山形	山形中央高校	9	谷川 みなみ 坂田 華乃子	長崎	大村高校
9	田島 知征 高橋 悠里	群馬	高崎商業高校	9	遠藤 優香 島津 佳那	東京	千代田女学園高校
9	大谷 陽登 岡崎 聡太	三重	三重高校	9	渡邊 舞華 渡邊 奈々恵	大分	明豊高校
9	松山 新 熊本 脩吾	和歌山	和歌山北高校	9	神崎 一夏 梅原 未来	京都	福知山成美高校
9	高橋 臣 増田 達四郎	北海道	北海道科学大学高校	9	中野 舞 今田 早紀	岡山	就実高校
9	林 民生 新沼 舜大	宮城	東北高校	9	高橋 紅羽 佐藤 日和	北海道	札幌龍谷学園高校
9	水木 瑠 福田 成海	宮城	東北高校	9	風村 佳野 浅井 亜海	愛知	豊田大谷高校
9	草野 湧凱 坂下 耕介	岐阜	中京高校	9	長谷川 憂華 立花 さくら	岡山	山陽女子高校

中学男子				中学女子			
1	幡谷 康平 竹谷 航洋	埼玉	杉戸中学校	1	奥田 妃奈 藤原 麻央	岡山	就実中学校
2	北野 敦貴 星 虎太郎	福島	西郷第一中学校	2	武市 明香里 濱島 怜奈	広島	広島修道大学附属錦華女子中学校
3	矢野 颯人 濱田 祐	和歌山	西和中学校	3	徳永 梨波 井上 爽蘭	岡山	山陽女子中学校
3	大村 圭志朗 田中 翔大	大阪	上宮中学校	3	辻 ひまり 石川 奈美	愛知	明祥中学校
5	野田 楓磨 永江 孝二郎	福岡	高田中学校	5	庄司 琴里 井上 あゆ	山形	真室川中学校
5	堀内 駿斗 桑山 信	埼玉	杉戸中学校	5	藤井 七海 西村 光	大阪	昇陽中学校
5	四位 光太 両角 友志	東京	清明学園中学校	5	中川 利李 半田 穂乃花	山形	宮内中学校
5	松本 英士 武市 大輝	山口	下松中学校	5	服部 綾乃 片岡 美紗希	兵庫	和田山中学校

小学男子				小学女子			
1	根岸 滯紋 小泉 瑠唯	埼玉	皆野ジュニア	1	前川 愛生 中谷 さくら	兵庫	明石ジュニアクラブ
2	後藤 優斗 木内 陸人	和歌山	ゆうゆうスポーツクラブ海南 L.C.C.	2	田中 栞 桑木 愛花	栃木	芳賀クラブジュニア
3	小笠原 風太 小島 大輝	静岡	豊田健友ジュニアクラブ	3	高野 鈴奈 高野 蓮奈	東京	日の出ジュニアクラブ
3	中内 謙秀 角谷 泰志	三重	伊勢ジュニアクラブ	3	田中 美和 向畑 奈々未	滋賀	甲賀スポーツ少年団 野洲ジュニアクラブ
5	塚本 星弥 遠藤 功一	愛知	東浦森と川STC	5	西田 瑠菜 野村 文楓	東京	稲城ジュニアクラブ 日の出ジュニアクラブ
5	富山 陽太 峯田 智生	宮崎	飢肥ジュニア 延岡Kids	5	中村 楓芽 宮前 希帆	福井	三国ジュニアクラブ
5	國松 樹人 國松 巧	新潟	小千谷市ジュニアクラブ	5	前田 繁緒 橋本 咲愛	兵庫	姫路ジュニアクラブ
5	野口 遼 小山 寛晴	埼玉	わかくさ 鳩ヶ谷ジュニア	5	柴田 凜 浜中 陽	京都	福知山ジュニアクラブ